

令和6年度 事業報告書

社会福祉法人 大月市社会福祉協議会

事業報告目次

| | | |
|----|--------------|---------|
| 1 | 法人運営事業 | (1) |
| 2 | 地域福祉推進事業 | (5) |
| 3 | 法人後見事業 | (9) |
| 4 | 市受託事業 | (1 0) |
| 5 | 県社協受託事業 | (1 8) |
| 6 | 共同募金配分事業 | (1 8) |
| 7 | 福祉金庫基金 | (1 9) |
| 8 | 介護保険訪問介護事業 | (2 1) |
| 9 | 介護保険通所介護事業 | (2 4) |
| 10 | 介護保険居宅介護支援事業 | (2 5) |
| 11 | 障害者サービス事業 | (2 6) |
| 12 | 地域支援事業 | (2 6) |

令和6年度 事業報告

事業の実施概要

令和6年度は、判断能力が十分でない方の権利や財産を守るため、新たに法人後見事業を開始しました。初年度は、職員の知識や技術向上、専門職や関係機関との連携構築など体制の整備を進め、1件受任することができました。そして、成年後見制度に関する理解を地域や福祉関係者へ広めていくための普及啓発活動として、成年後見制度に関する研修会の開催や、多くの福祉関係者が一堂に集う地域福祉推進大会において、市民向けに成年後見制度の基礎知識に関する講演を行うなど、積極的な推進を図りました。

また、介護保険3事業（居宅介護支援事業所・訪問介護事業所・通所介護事業所）においては、サービスの質の向上に努めるとともに、地域福祉推進役である社協の事業所として、利用者と地域との関わりに目を向け、常にニーズの発見や資源開発などを意識しながら事業所経営を行いました。しかしながら、依然として厳しい経営状況が続いており、中長期的な経営ビジョンが必要となっています。

1 法人運営事業

(1) 役員及び会議

①役員

令和6年度役員（理事・監事）は次のとおりです。

| 令和6年度役員 | |
|---------|--------|
| 役員名 | 氏名 |
| 会長 | 白川 恵子 |
| 副会長 | 小林 幹夫 |
| 〃 | 安藤 睦美 |
| 〃 | 白川 昌己 |
| 理事 | 米山 恭司 |
| 〃 | 藤本 孝明 |
| 〃 | 藤本 兼三 |
| 〃 | 畠山 哲 |
| 〃 | 青柳 薫 |
| 〃 | 小俣 理美 |
| 〃 | 渡辺 芳江 |
| 〃 | 小俣 民男 |
| 〃 | 小俣 加代子 |
| 〃 | 安藤 一洋 |
| 監事 | 後藤 正巳 |
| 〃 | 永岩 尊暢 |

②会議

ア 理事会

| 開催年月日（出席者数） | 会 議 内 容 |
|----------------------------|---|
| 令和6年 6月 3日 （理事10名・監事0名） | ① 会長の職務執行状況の報告 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会就業規則の一部改正について 2 大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 3 大月市社会福祉協議会経理規程の一部改正について 4 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 5 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について 6 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について 7 大月市社会福祉協議会指定訪問介護事業所運営規程の一部改正について 8 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業（訪問型サービス）運営規程の一部改正について 9 令和5年度大月市社会福祉協議会事業報告について 10 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について 11 令和5年度大月市社会福祉協議会定時評議員会の招集について |
| 令和6年10月 7日 （理事11名・監事1名） | 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について 2 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について 3 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正について 4 大月市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 5 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号（案）について 6 評議員候補者の推薦について 7 令和6年第4回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について 8 令和6年第1回大月市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について |
| 令和7年 1月28日 （理事11名・監事0名） | 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号（案）について 4 令和7年第1回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について |

| | |
|----------------------------|--|
| 令和7年 3月17日 (理事11名・監事1名) | <ul style="list-style-type: none"> ① 会長の職務執行状況の報告 ② 各主要事業実施報告について <ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 2 大月市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について 3 役員等賠償責任保険契約について 4 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について 5 令和7年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について 6 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計予算(案)について 7 令和7年第2回大月市社会福祉協議会評議員会の招集について |
|----------------------------|--|

イ 評議員会

| 開催年月日 (出席者数) | 会 議 内 容 |
|---------------------|---|
| 令和6年 6月21日 (15名) | <ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 2 令和5年度大月市社会福祉協議会事業報告について 3 令和5年度大月市社会福祉協議会一般会計決算について |
| 令和6年10月15日 (17名) | <ul style="list-style-type: none"> ① 社会福祉法人大月市社会福祉協議会臨時的任用職員の雇用等に関する就業規則の一部改正について ② 大月市社会福祉協議会指定通所介護事業所運営規程の一部改正について ③ 社会福祉法人大月市社会福祉協議会介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程の一部改正について ④ 大月市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について <ul style="list-style-type: none"> 1 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第1号(案)について |
| 令和7年 2月 6日 (16名) | <ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の給与等に関する規程の一部改正について 2 社会福祉法人大月市社会福祉協議会の職員の手当に関する規程の一部改正について 3 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第2号(案)について |
| 令和7年 3月25日 (18名) | <ul style="list-style-type: none"> 1 社会福祉法人大月市社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の一部改正について 2 令和6年度大月市社会福祉協議会一般会計補正予算第3号(案)について 3 令和7年度大月市社会福祉協議会事業計画(案)について 4 令和7年度大月市社会福祉協議会一般会計予算(案)について |

※ ○数字の内容は報告事項

(2) その他

①社協に対する寄附金ならびに寄附物品

次の方々や団体から浄財が寄せられました。寄附金については、社協福祉基金に積立を行いました。必要に応じ、地域福祉に係る事業等へ有効活用させていただきます。

| 年月日 | 氏名 | 金額(円) | 物品の場合の品名 |
|------------|---------------------|-----------|----------|
| R6. 4. 22 | 相馬健 | 10,000 | |
| R6. 5. 7 | 久根口扶美香 | 10,000 | |
| R6. 5. 23 | 佐藤文子 | 10,000 | |
| R6. 6. 16 | 匿名 | 5,000 | |
| R6. 6. 20 | 大月市ダンス愛好会 | 5,000 | |
| R6. 9. 5 | 匿名 | 5,000 | |
| R6. 9. 18 | 社会福祉チャリティゴルフ大会実行委員会 | 305,173 | |
| R6. 9. 26 | 蔦木守 | 10,000 | 車イス |
| R6. 10. 11 | 大月市児童館母親クラブ | 4,721 | |
| R6. 10. 28 | 紅富士太鼓 | 20,060 | |
| R6. 11. 6 | 匿名 | 196,020 | |
| R6. 11. 7 | 匿名 | 10,000 | |
| R6. 11. 22 | フィールドブリッジキャピタル合同会社 | 1,000,000 | |
| R6. 11. 27 | 匿名 | 5,000 | |
| R6. 12. 13 | 公益社団法人大月法人会 | 107,000 | |
| R6. 12. 17 | 大月市ダンス愛好会 | 10,000 | |
| R7. 1. 7 | 大月桃太郎連絡会議 | 30,000 | |
| R7. 1. 28 | 太陽のつどい | 12,659 | |
| R7. 2. 16 | 匿名 | 5,000 | |
| R7. 3. 12 | 匿名 | 16,262 | |
| R7. 3. 21 | 下花咲老人クラブ | 20,000 | |
| R7. 3. 28 | 手話サークル山百合 | 5,000 | |
| | 合計(22件) | 1,801,895 | |

(敬称略)

②苦情内容及び解決結果の公表について

令和6年度 0件

2 地域福祉推進事業

(1) 地域福祉活動事業

①大月市地域福祉推進大会（社会福祉大会）

社会福祉に携わる方々と高齢者・障害者の方々などが一堂に会し、本大会を契機に新たな社会福祉の推進方策を探ることを目的に実施しました。

大会では、社会福祉の発展に功績のあった個人の方々を表彰し、感謝の意を表したほか、第2部では石川法律事務所の小笠原弁護士を講師にお招きし「成年後見制度による権利擁護～基礎知識と意思決定支援の重要性～」と題した講演をしていただきました。

講演では、市民の皆さん向けに成年後見制度の基礎知識に関する内容を中心に、終盤は事例を交えて意思決定支援の重要性についてお話していただきました。

- ・実施日 令和6年11月23日（土・祝）
- ・場 所 大月市民会館 大ホール 参加者252名
- ・内 容 第一部 式典(社会福祉事業功労者への表彰)
第二部 講演
「成年後見制度による権利擁護
～基礎知識と意思決定支援の重要性～」
講師：石川法律事務所 弁護士 小笠原 亘 氏

②各種団体助成事業

各種諸団体が行う独自の福祉活動等に対し助成を行い、地域福祉の推進に努めました。

| | |
|-----------------------|----------|
| 大月市障がい者福祉の会 | 70,000円 |
| 大月市ボランティア協議会 | 270,000円 |
| 大月市老人クラブ連合会（ゲートボール大会） | 50,000円 |
| 地区社会福祉協議会（7地区） | 555,000円 |

*助成金には、共同募金配分金も含まれています

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活自立支援事業は、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的としており、それらの方が地域において自立した生活が送れるよう福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等を行なうものです。

大月市社協は、基幹的社会福祉協議会として委託を受け（実施主体は山梨県社会福祉協議会）、専門員を設置し、利用者に対する具体的な相談、援助、監督を行い、利用者本人との契約締結により生活支援員が利用者の通帳他書類などを預かり、日常生活における金銭の管理（公共料金などの支払代行、金融機関での手続きの代行、預金払戻し、福祉サービスの利用料の支払い手続きの代行）の支援を行ないました。

また、大月市において実施した市民後見人養成講座や市民生活支援員養成講座の受講修了者の12名の方に、市民生活支援員として活動をしていただいています。

令和6年度においては、認知症高齢者3名、知的障がい者7名、精神障がい者10名、

計20名への支援を行ないました。

令和6年度 利用及び相談支援件数

| | | | | | |
|----|--------|--------|--------|-----|-----|
| 対象 | 認知症高齢者 | 知的障がい者 | 精神障がい者 | その他 | 合計 |
| 件数 | 128 | 324 | 409 | 0 | 861 |

ア 市民生活支援員養成講座

認知症や知的障がい、精神障がい等が理由で日常的な金銭管理や福祉サービスなどの利用を一人で行うことが心配な方や困っている方を地域で安心して暮らせるようにサポートしていただく、市民生活支援員を養成するための講座を開催しました。

- ・日時 令和6年8月27日(火) 午後1時30分～3時30分
- ・場所 大月市総合福祉センター 3階 食堂
- ・内容 ①講義「日常生活自立支援事業と市民生活支援員の役割について」
②講義「精神・知的障がいの理解と対応について」
③講義「高齢者の理解と認知症高齢者の対応方法について」
④報告「市民生活支援員の活動について」
⑤訪問実習（講義日とは別に1時間程度の訪問実習を実施）
- ・参加者 7名の内3名が市民生活支援員へ登録

④ふれあい・いきいきサロン推進事業

ふれあい・いきいきサロンは、一人暮らしの方や高齢者、地域住民が徒歩で気軽に行ける場所に集い、孤立や孤独を防ぎ仲間づくりにつなげる現代風「お茶のみ会」です。大月市内では、現在47サロンあり、各サロンの独自性を活かしながら活動しています。

1サロンにつき年2回程度、担当の職員がサロンへ訪問し、レクリエーションやお茶飲みを通じ、サロンや地域の課題把握に努めました。各地区のサロンの登録数等は次のとおりです。

- ・サロン登録数47箇所／社協職員派遣回数30回程度

| 地区名 | サロン数 | 増減 | 登録者数 |
|-----|------|----|------|
| 笹子 | 5 | ±0 | 85 |
| 初狩 | 0 | ±0 | 0 |
| 大月 | 8 | +1 | 228 |
| 賑岡 | 4 | ±0 | 88 |
| 七保 | 10 | +1 | 195 |
| 猿橋 | 8 | ±0 | 105 |
| 富浜 | 5 | ±0 | 78 |
| 梁川 | 5 | ±0 | 81 |
| その他 | 2 | ±0 | 75 |
| 合計 | 47 | +2 | 935 |

(2) ふれあい福祉推進事業

①ふれあい福祉バザー

住民生活に密着した社会福祉事業に取り組むための自主財源の確保を目的に、市民の協力を得ながら「ふれあい福祉バザー」を実施しました。この収益金は、地区社協活動をはじめとする地域福祉への理解を深め、より充実させるために活用させていただきました。

- ・実施日 令和7年2月9日（日）
- ・場 所 大月総合福祉センター 6階
- ・バザー提供品数 3,051点 売上金額 471,000円
- ・協力人数 述べ30名程度

②友愛訪問活動事業

一人暮らし高齢者等の安否確認や話し相手などを目的として、地区民生委員児童委員に訪問の協力をお願いし実施しました。

| 地 区 | 笹子 | 初狩 | 大月 | 賑岡 | 七保 | 猿橋 | 富浜 | 梁川 | 合 計 |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|-----|-----|
| 対象者数 (3月末現在) | 8 | 8 | 18 | 10 | 13 | 12 | 0 | 8 | 77 |
| 延べ対象者数 | 111 | 113 | 158 | 116 | 156 | 153 | 0 | 107 | 914 |

③ファーストスプーン事業

生後6ヶ月までの赤ちゃんがいる家庭へ、各地区の民生委員と主任児童委員が家庭を訪問して子育ての悩みをお聞きし、子育て支援に関する情報等を周知しながら、赤ちゃんの名前と生年月日を刻印した県産の木製手作りスプーンをプレゼントする、ファーストスプーン事業を実施しました。

| 地 区 | 笹子 | 初狩 | 大月 | 賑岡 | 七保 | 猿橋 | 富浜 | 梁川 | 合 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 対象者数 | 1 | 0 | 7 | 3 | 3 | 8 | 2 | 0 | 24 |

(3) ボランティアセンター運営事業

ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介をしています。ボランティア団体等の活動支援や、ボランティア体験プログラムの実施、ボランティア活動関係団体との連絡・調整、活動の普及、活動中の事故に備えてのボランティア活動保険加入促進等を行うことを通じて、活動を推進しています。また、学校や地域の様々な場面ですすめられる「福祉教育」の推進・支援をしています。

①ボランティアセンター活動事業

ア 相談・登録・斡旋事業

- ・ボランティア（個人・団体）受付
- ・相談、ニーズに応じたボランティアの斡旋（施設・学校等）など
- ・ボランティア相談（登録、ニーズ、斡旋、福祉講話・教育、ボランティア活動・ボ

ランティア行事用保険加入相談・事故対応)

□ボランティア登録団体

・大月市ボランティア協議会・七保地区ボランティア協議会・猿橋地区ボランティア協議会・梁川地区ボランティア協議会・点字サークル八重桜会・手話サークル山百合・手話サークル手話で楽しむ会・手話奉仕員・おおつきお助け隊・絵手紙教室ボランティア・車いすレクダンス「矢車草」大月支部・童謡サークルわらべ・傾聴ボランティアつゆくさの会・音訳ボランティア聲・いずみ会・わんにゃん隊・まちなかカフェまどい・チームゆりヶ丘・Vおいわけ清流会・DPLS-JAPAN・観光ボランティア

□個人で登録活動しているボランティア会員227名

イ 広報・啓発事業

・大月市社会福祉協議会、大月市ボランティアセンター「社協だより・ボランティアだより」全戸配布によるボランティア情報の発信を年間4回行いました。

ウ ボランティアサークル等育成助成事業

・各種ボランティアサークルへの活動等に対し助成を行い、ボランティア活動の推進に努めました。

| | |
|--------------------|---------|
| 点字サークル八重桜会 | 20,000円 |
| 手話サークル山百合 | 40,000円 |
| 車いすレクダンス協会大月支部 | 20,000円 |
| 音訳ボランティア聲 | 20,000円 |
| 傾聴ボランティアグループつゆくさの会 | 40,000円 |

エ ボランティア養成講座・研修の開催

| 講座名 | 回数 | 参加者 |
|--------------------------------|-----|-----|
| 手話奉仕員養成講座入門・基礎課程 (R6.4月～R7.3月) | 40回 | 17名 |

オ 大月市ボランティア活動普及協力校事業

| 学校名 | 内容 |
|---------------|------------------------------|
| 大月市立初狩小学校 | もち米づくり、フラット森林木材産業、笹子初狩地域学習 |
| 大月市立大月東小学校 | 花いっぱい・地域先輩からの学習、命の教育、遺跡学習等 |
| 大月市立七保小学校 | 作物栽培、福祉講話、やまびこ支援学校や地域との交流等 |
| 大月市立猿橋小学校 | 農業体験、盲導犬ユーザーによる福祉講話、いのちの学習等 |
| 大月市立鳥沢小学校 | 間伐・米づくりなど地域の方の講師による体験学習等 |
| 大月市立大月東中学校 | 花いっぱい、大月探検、愛町作業等 |
| 大月市立猿橋中学校 | 愛橋作業、やまびこ交流会、歴史・地域のふるさと教育 |
| 山梨県立やまびこ支援学校 | デパートや商店街など地域との交流、植栽活動等 |
| フリースクールオンリーワン | カフェ開催による地域との交流等 |
| 山梨県立都留高等学校 | オーバートリズム・地域課題についての探究プロジェクト事業 |
| 自然学園高等学校 | 環境整備などの地域行事協力、福祉体験、追分人形芝居 |

- カ 学校、企業、地域への福祉教材、体験用具の貸出及び福祉講話の講師派遣（高齢者疑似体験・視覚障害体験・点字練習器・アイマスク・録音図書、手話・点字指導など）
- キ ボランティア協議会事務局業務
- ク 県内、市内各種行事への参加呼びかけとコーディネート
- ケ 収集ボランティア活動（使用済み切手・ペットボトルキャップなど）
 寄付先（古切手→（福）ぶどうの里勝沼授産園、ペットボトルキャップ→NPO法人エコキャップ推進協会、プルタブ・アルミ缶・ハガキ→ボランティアセンター、牛乳パック→就労支援事業所めばえ）
- コ 災害時の協定締結（一般社団法人大月青年会議所、公益社団法人東部広域シルバー人材センター）

3 法人後見事業

(1) 法人後見事業

成年後見制度の充実を図るため、本会が成年後見人等を受任し、認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方が自分らしく安心して暮らせるように、本人の権利や財産を守り、本人の意思を尊重した生活ができるよう法人後見事業を開始しました。

また、地域住民や福祉関係者等の方に事業の内容を知っていただくため、研修会を開催し、成年後見制度の周知啓発活動を行いました。

●令和6年度 法人後見受任件数 1件（保佐）

①成年後見制度研修会

成年後見制度について、周知啓発を図るとともに成年後見制度の仕組みや活用等について理解を深めることを目的として研修会を開催しました。

- ・実施日 第1回 令和6年7月19日(金) 午後1時30分から午後3時まで
 第2回 令和7年1月9日(木) 午後1時30分から午後3時まで
- ・場 所 大月市総合福祉センター 6階 多目的ホール
- ・内 容 講 義 「成年後見制度について学ぼう」
 講 師 司法書士 篠田 貴子 氏
- ・参加者数 第1回 令和6年7月19日(金) 29名
 第2回 令和7年1月9日(木) 10名

②法律相談

日常生活の中で起きる法律にかかわる問題（相続・遺言、成年後見制度、不動産登記、少額訴訟手続き、借金返済相談など）について、平日は忙しくて相談に行けないという方のために、土曜日に司法書士・弁護士による無料法律相談を開催しました。

●司法書士相談

- ・実施日 令和6年8月24日（土）午前10時00分～11時30分
- ・場 所 大月市総合福祉センター 3階 研修室
- ・利用者 3名

●弁護士相談

- ・実施日 令和6年10月5日（土）午前10時00分～11時30分
- ・場 所 大月市総合福祉センター 3階 研修室
- ・利用者 3名

4 市受託事業

(1) 在宅介護支援センター運営事業

①地域支援事業

ア 介護予防・生活支援サポーター養成講座

介護予防・生活支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支える活動、担い手側と支援を受ける側がお互いいつまでも元気に暮らすことができる社会を創ることを目的に3回実施しました。

講座日時及び内容等

| 日 時 | 参加人数 | 内 容 等 |
|--------------------------|------|---|
| 6月26日（水） | 0名 | ①講義「心と体の健康について」 ②講義「対人援助技術について」 講師：一般財団法人山梨県介護福祉士会 望月 知子 氏 ③講義「ボランティア活動について」 講師：大月市社会福祉協議会 |
| 10月11日（金） 13：30～16：30 | 12名 | |
| 2月19日（水） 13：30～16：30 | 9名 | |

②包括的支援事業

ア 地域包括支援センターランチ型総合相談窓口事業

地域包括支援センター（大月市）を補完する形で地域における相談窓口機関として、市からの委託を受け、市内に居住する65歳以上の高齢者や障がい者等の総合相談に応じました。

また、相談内容は、介護や介護保険に関する相談が多く、一人暮らし高齢者等の増加から権利擁護に関する相談も増えてきています。このような相談に対し、地域や関係機関、各種団体等と連携を図り、問題の解決に取り組みました。

相談内容及び件数

| 内 容 | 件数 |
|---------------|----|
| 介護に関する相談 | 10 |
| 介護保険に関する相談 | 6 |
| 権利擁護に関する相談 | 11 |
| 成年後見制度の活用 | 14 |
| その他生活支援に関する相談 | 36 |
| 合 計 | 77 |

※合計77件のうち新規相談31件 継続相談46件

イ 生活支援体制整備事業

高齢者等が住み慣れた地域で安心して日常生活が送れるように地域の支えあい・助け合いの意識の啓発を図り、地域の多様な方々が連携を図れるような体制の整備を推進しました。

・地区組織活動推進委員会の開催

地区組織活動推進委員会を開催し、10地区の社協において、情報の共有を行ないました。また地域の困りごとなどの情報交換を行ないました。

・就労的支援コーディネーター

高齢者の個性を生かしながら個人の特性や希望に合った活動をコーディネートして、高齢者の社会参加等を促進することを目的に実施しました。令和6年度はお助け隊の活動のマッチングや調査として、マッチングを66件、新規利用者調査を13件実施しました。また、高齢者が介護保険施設等においてボランティア活動に参加することで、自身の介護予防につなげていただく「大月市介護予防いきいきボランティア活動支援事業」において、介護予防・生活支援サポーター養成講座を受講した方の内、4名の方が新規登録しました。施設等のマッチングについては2施設203件、活動につなげることができました。

・小地域の高齢者ニーズの把握及び生活支援

地区社協の役員会等に出席し、地域住民の声を聞くことによって、住民の生活課題や資源の把握を行うことや日常生活の困りごと等を聞くことができました。また、住民の介護保険サービスや在宅福祉サービスで対応できない困りごとに対して、地域や各種団体等にて対応できるようにコーディネートしました。

③任意事業

ア 家族介護支援事業

在宅で寝たきりの高齢者並びに認知症高齢者の介護にあたっている家族介護者を対象に介護技術の習得や介護者相互の交流会を開催し、心身のリフレッシュを図ることを目的に実施しました。

| 回数 | 期 日 | 場 所 | 参加者 | 内 容 |
|----|-------|------------------------|-----|-----------------|
| 1 | 4月9日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 17 | オリエンテーション・情報交換会 |
| 2 | 5月7日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 17 | 介護技術と介護用品について |
| 3 | 6月11日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 19 | レクリエーション・情報交換会 |
| 4 | 7月9日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 16 | 水分と体の健康について |
| 5 | 8月6日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 15 | 睡眠について |

| | | | | |
|----|---------------|------------------------|----|------------------------|
| 6 | 9月10日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 15 | レクリエーション |
| 7 | 10月8日 | 特別養護老人ホーム 志仁也 | 18 | 施設訪問 |
| 8 | 11月12日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 15 | 高齢者に起こりやすい事故と防止について |
| 9 | 12月10日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 16 | クリスマス会・交流会(老人大学フラダンス部) |
| 10 | 令和7年 1月14日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 14 | 介護保険制度について |
| 11 | 2月18日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 15 | レクリエーション・交流会 |
| 12 | 3月11日 | 市総合福祉センター 6階 多目的ホール | 17 | 軽体操(お気軽フィットネス) |

④高齢者生活支援事業

ア 家族介護用品支給事業(寝たきり老人等オムツ支給事業)

在宅のねたきり高齢者等の家庭にオムツを支給し、介護者の経済的負担の軽減を図りました。8種類の組み合わせから対象者に合った種類を選び提供しました。

なお、配布に際しては、民生委員児童委員の皆様にご協力いただいています。

| 地区 | 笹子 | 初狩 | 大月 | 賑岡 | 七保 | 猿橋 | 富浜 | 梁川 | 合計 |
|-------------|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|
| 年間延べ 配布数 | 13 | 27 | 119 | 88 | 74 | 40 | 61 | 22 | 444 |

イ 高齢者訪問理美容助成金事業

寝たきり・心身の障害等の理由から、理容院や美容院に出向く事が困難な高齢者に対し、在宅において理美容を行った場合、その費用の一部を助成する事業です。

助成金は、1回につき3,000円を上限に、一人当たり年3回を限度として実施しています。

| 登録者数 | 利用回数 | 助成金額合計 |
|------|------|---------|
| 16名 | 34回 | 97,000円 |

ウ 車いす無料貸与事業(社協単独事業)(貸出期間は原則最長2週間)

市内に在住する高齢者や障がい者、または怪我などにより、一時的に車いすが必要になった方へ無料で貸出を行ないました。また、ボランティア活動や福祉教育などにおける研修用機材として、地域や学校などに無料で貸出を行ないました。

年間の利用状況は次のとおりです。

| 月別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 利用数 | 11 | 5 | 9 | 5 | 11 | 9 | 11 | 16 | 10 | 8 | 10 | 15 |

合計 120件

(2) 高齢者生きがい活動推進事業

① ツキフェス24 (大ツキふれあいスポーツフェスティバル24)

児童や高齢者、障がい児者、ボランティア等、年齢の違いや心身の状態の異なる市民が一同に集い、ふれあいを深める場として開催しました。

感染症拡大防止のため規模を縮小して実施しましたが、競技やレクリエーション等を行い、参加者相互に楽しいひとときを過ごすことが出来ました。

- ・実施日 令和6年10月19日
- ・場 所 大月市民総合体育館
- ・参加者 262名

② 老人大学運営事業

心身ともに明朗で健康なシニア生活を樹立するために開設された老人大学の事務局として、高齢者福祉の増進に努めました。

- ・サークル数20部 (学生237名)

- ①園芸部 20名 ②手芸部 11名 ③華道部 6名 ④書道部 15名
- ⑤詩吟部 12名 ⑥舞踊部 7名 ⑦大正琴部 8名 ⑧囲碁部 5名
- ⑨茶道部 9名 ⑩短歌部 6名 ⑪社会部 19名 ⑫ダンス部 21名
- ⑬料理部 9名 ⑭コーラス部 10名 ⑮カラオケ部 22名
- ⑯民謡部 9名 ⑰フラダンス部 11名 ⑱水墨画部 12名
- ⑲楽楽健康体操部 11名 ⑳ハンドメイド部 14名

- ・全体学習 発表会や講演会など年間4回実施

- ・年間行事 4月 令和6年度第55期入学式

11月 老人大学秋の遠足 (千葉県方面、日帰り)

3月 修了式・老大祭 (降雪のため中止)

(3) 障害者社会参加促進支援事業

① 障がい者社会見学

障がい者の積極的な社会参加と交流を図る観点から、社会見学を実施しました。

令和6年6月2日 安曇野ちひろ美術館他 参加者84名

② 障がい者ボウリング大会

障がいがあっても、誰でも楽しめるスポーツとして、ボウリング大会を開催し、障がい児者の健康維持と会員相互の交流を深めることを目的に開催しました。

令和6年8月25日 都留ファミリーボウル 参加者68名

③障がい者クリスマスのつどい

普段、外出が困難な方など誰もが参加でき、会員同士のふれあいを深めることを目的にクリスマスのつどいを開催しました。

令和6年12月15日 大月市総合福祉センター 参加者83名

④ふれあい講演会（障がい者理解普及啓発活動事業）

福祉関係者や広く地域の方々に、障がい者への理解や障害者福祉に対する意識啓発を図る観点から、障がい者の視点などの体験をする講演会を実施しました。多くの市民への理解啓発活動となりました。

「障がいのある子ってどんな感じ？」講師：立川キャラバン隊ひこうき雲

令和7年1月26日 大月市総合福祉センター 参加者40名

⑤障がい者防災研修会

障がいがある方、その家族と支援者を対象に自然災害に対する自らの備えを学ぶ講義と、止血方法や簡易担架作成、消火器の使い方実習を含め研修会を開催しました。

「災害に備えて」講師：大月市防災士会2名

令和7年3月2日 大月市総合福祉センター 参加者32名

⑥社会参加交流事業「ぐーちょきぱー」

心身に障がいのある在宅（外出や就労の機会が得られない）の方を対象に、年4回の交流会を実施しました。また、保護者の交流の場、意見交換の場として大月ネットワーク会議を開催しました。

令和6年5月19日 総合福祉センター 参加者22名「お気軽フィットネス」
ネットワーク会議の開催「情報交換及び交流会」

令和6年7月21日 総合福祉センター 参加者16名 「eスポーツ体験」
ネットワーク会議「子ども家庭総合支援センター

講師：花みずき鷹左右センター長」

令和6年9月29日 総合福祉センター 参加者19名「お気軽フィットネス」
ネットワーク会議「情報交換及び交流会」

令和6年10月4日 ネットワーク会議「障がい者福祉サービス：小松圏域マネージャー」

令和7年1月19日 総合福祉センター 参加者25名 「eスポーツ体験」

令和7年3月16日 総合福祉センター 降雪のため中止

⑦大月市障がい者福祉の会会報誌「おたより」発行

会報誌「おたより」を年に2回（8月、3月）発行、会員に配布し、加入呼びかけと周知のために福祉センターと市役所に掲示しています。

⑧その他 「富士ふれあいの村まつり」（9月14日）などに参加しました。

(4) ふれあいのまちづくり事業

大月市ふれあいのまちづくり事業は、住み慣れたまちで、高齢者や障害者、児童など誰もが安心して生活できる助け合いや交流の輪を広げ、共に支えあう福祉のまちづくりを目的に、地域のネットワークを利用し活動を展開しました。

令和6年度は、昨年引き続き地区組織活動推進委員会（地区社協）を中心とした地域のネットワーク強化に重点をおいた取り組みを行ないました。

①地域住民の各種相談（心配ごと相談事業）

- ・行政及び様々な相談機関等と連携を図りながら相談支援に応じました。

②福祉活動、交流活動の啓蒙と展開

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポート

社協職員の地区担当により、地域と連携を密にし住民主体の地域福祉の推進を図りました。

③地域におけるボランティア活動に関する相談・登録斡旋及び養成研修

- ・各種ボランティア講座及び研修会の周知、開催を行いました。

④地域とのネットワーク形成及び住民参加の福祉活動（見守り活動、サロン活動等）への助成、支援を行いました。

- ・ふれあい・いきいきサロンの推進

希望したサロンに職員派遣を年2回程度計画し、課題把握などに努めました。コロナウイルス感染症により、これまで自粛していたサロンも活動を再開し、年間30回程度の訪問を実施しました。また、サロン活動を始めたい地区があり、立ち上げに向けて助言等を行い、活動を少しずつ始めています。

- ・ふれあい・いきいきサロン代表者会議の開催

代表者を一堂に会して実施しました。今回は新たな活動の提案として大月市 e スポーツクラブにお願いし、e スポーツ体験（太鼓の達人、ボウリング）を行いました。

- ・各地区社会福祉協議会事業への協力・事務サポートを行ないました。（再掲）
- ・友愛訪問活動による見守り活動を行いました。（再掲、継続実施）

(5) 災害時要援護者登録制度事業

災害発生時に自力または家族の力だけでは避難することが困難な方々（災害時要援護者）を、地域で日常から把握し、見守り・声掛け活動等を行い、一緒に避難が出来るような体制をとるための登録を本人からの申請制で登録を行い台帳の作成をしています。この台帳は、市との委託契約に基づき地域内の関係組織に情報提供させていただいています。

令和6年度末現在の登録者数は、次のとおりです。

| 地区名 | 笹子 | 初狩 | 大月 | 賑岡 | 七保 | 猿橋 | 富浜 | 梁川 |
|-----|----|----|-----|----|----|-----|-----|-----|
| 登録者 | 6名 | 1名 | 41名 | 8名 | 9名 | 14名 | 10名 | 13名 |

合計 102名

(6) 生活困窮者自立支援事業

大月市内に在住し、長引く不況や社会情勢などの原因により、生活を維持することが困難となった方に対して、就労支援や家計の見直し、ひきこもりの支援等、個々が必要としている様々なニーズに対し、各関係機関と連携を図りながら、相談者に寄り添い、自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業を行ないました。

コロナ禍の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難になっている世帯への総合支援資金の特例貸付申請について、本事業にて対応していましたが、特例貸付が令和4年9月末で終了となり、令和5年1月から特例貸付の償還が開始されました。

しかし、依然として生活が困窮している世帯には、引き続き支援を行うとともに関係機関と連携を図りながら自立に向けた支援を実施しました。

また、市民の皆様や関係団体の協力のもとフードドライブを実施しました。支援を必要としている60名に食糧支援を行うことが出来ました。

今年度の相談支援件数等は次のとおりです。

①自立相談支援事業

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却し、社会的、経済的に自立できるよう支援対象者の個々の状態に応じた包括的な相談支援を実施しました。

●相談支援者数40名（新規29名） ●年間延べ相談件数1,381件

②家計改善支援事業

家計に課題を抱える方からの相談に応じ、家計状況を明らかにしたうえで生活再生に向けた意欲を引き出し、家計の視点から必要な情報提供や助言、相談支援を行いました。

●相談支援者数8名 ●年間延べ相談件数108件

③就労準備支援事業

一般就労が困難な方に対し、生活習慣の形成のための指導や助言、就労体験を行い、就労に必要な知識や技術の習得などの支援を実施した。

●相談支援者数11名 ●年間延べ相談件数18件

④山梨県生活困窮者物価高騰対策緊急支援事業

物価高騰の影響を大きく受ける生活困窮者に対し、緊急的なつなぎ支援として、山梨県から事業を委託し物価高騰による経済的負担を軽減するため、非課税世帯に対し灯油助成券の配布を行いました。

●配布世帯数556世帯

(7) 総合福祉センター管理運営事業

①総合福祉センターの全施設の利用状況

総合福祉センターについては、各施設とも使用目的に沿って、事業の実施や運営管理に工夫を施すなど、利用者の立場を最優先に運営を行いました。

令和6年度は、303日を開館し、福祉団体の方々をはじめ多くの市民が利用されました。

各施設の利用状況等は、次のとおりです。

| 施設名 | 室名等 | 利用回数(回) | 利用人数(人) | 備考 |
|------------------|-----------------|---------|---------|-------------------|
| 2階 児童母子福祉センター | 児童館 | 288 | 4,240 | |
| 3階 障害者福祉センター | 栄養指導実習室外 | 290 | 3,067 | 会議室を含む。 研修室を含む |
| | マザーズルーム外 | 398 | 3,049 | |
| | 計 | | 6,116 | |
| 4階 保健センター | 保健運動指導室 | 175 | 2,171 | |
| 5階 老人福祉センター | 和室(研修等) | 34 | 742 | |
| | 浴室 (主に浴室利用者) | | 2,090 | |
| | 計 | | 2,832 | |
| 6階 多目的ホール | 大小会議室 | 279 | 5,918 | |
| 見学・行事 | | 1 | 421 | |
| 合計 | | | 21,698 | 開館 303日 |

②福祉自動車貸与事業

介護を必要とする高齢者や障がい者等を対象として、通院や買物などの利便性を図ることや旅行などの余暇活動などを充実させることを目的に、車イスのまま乗れる福祉車両やリフト付きの福祉車両を貸出す事業を実施しました。

年間の利用状況は次のとおりです。

● 福祉自動車(軽自動車2台・ワゴン車1台) (単位:人)

| 利用目的 | 通院 | 旅行等その他 | 計 |
|-----------|----|--------|----|
| 軽自動車2台利用数 | 99 | 0 | 99 |
| ワゴン車1台利用数 | 6 | 44 | 50 |

合計 149人

5 県社協受託事業

(1) 生活福祉資金貸付事業

山梨県社会福祉協議会からの受託事業として、低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、その在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金貸付事業を行いました。資金の貸付による経済的な援助にあわせて、地域の民生委員が資金を借り受けた世帯の相談支援を行っています。

また、令和2年3月から開始された新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、生活資金でお悩みの方々へ向けた緊急小口資金等の特例貸付が令和4年9月末で終了となり、令和5年1月から特例貸付の償還が開始されましたが、依然として生活困窮にある世帯からの償還免除や償還猶予の相談を受け、関係機関と連携を図りながら自立に向けた支援を実施しました。

令和6年度の相談件数は延べ24件で相談内容は次のとおりです。

| 相談内容 | 人数（人） |
|------------------|-------|
| 特例貸付の償還に関する相談 | 2 |
| 特例貸付の免除に関する相談 | 3 |
| 特例貸付の償還猶予に関する相談 | 0 |
| 資金制度や申請に関する問い合わせ | 19 |

6 共同募金事業

赤い羽根共同募金は「じぶんのまちを良くするしくみ」として、お寄せいただいたご寄付を山梨県共同募金会にて取りまとめを行い、各種福祉活動（子ども、高齢者、障がい者などを支援する様々な活動）や災害時支援等に役立てられるよう、各市町村へ配分されています。大月市においても配分金にて地域福祉活動事業を実施しています。

（共同募金は今年度集めた募金を来年度に配分する仕組みとなっています。）

大月市内においての令和6年度の共同募金実績額及び募金配分事業は次のとおりです。

(1) 令和6年度赤い羽根共同募金（地区社会福祉協議会等からの募金実績状況）

令和6年度地区社会福祉協議会及び団体等の実績

| 地区名 | 金額（円） | 地区名 | 金額（円） |
|------|---------|-------|-----------|
| 笹子地区 | 215,000 | 瀬戸地区 | 209,000 |
| 初狩地区 | 388,000 | 猿橋地区 | 1,071,000 |
| 真木地区 | 351,858 | 富浜地区 | 790,600 |
| 大月地区 | 998,140 | 梁川地区 | 227,900 |
| 賑岡地区 | 636,902 | 事務局 | 412,238 |
| 七保地区 | 572,200 | 募金額合計 | 5,872,838 |

※各地区社協よりお願いした企業などの募金は大口募金として地区実績に含まれます。

(2) 令和6年度共同募金配分金実施事業

| 項目 | 事業名 | 金額(円) |
|----------------|--|-----------|
| 地域社会福祉事業 | ・社協だより・ボランティアだより発行事業(年4回発行) | 573,000 |
| 地域福祉活動推進事業 | ・車両購入事業 | 1,300,000 |
| あったかサービス事業 | ・ふれあいいきいきサロン推進事業(47か所へ助成) | 600,000 |
| 重点配分事業 | ・ファーストスプーン事業(新生児24名へ配布) | 200,000 |
| 市町村社協地域福祉活動事業 | ・地元愛醸成プロジェクト協力校事業(11校へ助成) | 600,000 |
| 地区社協等小地域福祉活動事業 | ・老人憩いの家整備事業(14地区整備) ・地区社協活動推進事業(5地区へ助成) | 1,700,000 |
| 地域福祉活動団体推進事業 | ・ボランティアサークル等育成事業(6団体) | 250,000 |
| 歳末たすけあい事業費 | ・障がい児者等への贈呈事業(障害者福祉施設2施設) | 150,000 |
| 合計金額 | | 5,223,000 |

7 福祉金庫基金

(1) 福祉金庫貸付事業

在宅高齢者福祉の充実、障害者及び低所得世帯の援護資金に供し、生活の助長福祉活動の推進を図ることを目的として行ないました。

より緊急性の高いケースに対応し、貸付限度額は5万円として実施しています。

本事業の活用によって、経済的自立と生活意欲の助長、社会参加の促進を図るとともに、貸付を行うだけにとどまらず、対象となる方や家族の生活ニーズなどに対して総合的・継続的な相談支援を行なっています。

令和6年度においては、相談件数は0件でした。

介護保険

介護保険法や障害者総合支援法に基づく事業として、介護保険指定居宅介護支援事業（介護サービス計画）、介護保険指定居宅サービス事業（訪問介護、通所介護。）及び障害者居宅介護サービス事業の運営がなされており、各事業所の令和6年度実績は下記のとおりです。

(1) 事業所の実施状況

| | 事業所名と職員体制 | 実績内容 |
|------------|--|---|
| 指定居宅サービス事業 | (1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション 「花さき」 【職員体制】 訪問介護員 ・常勤 3名 (うち障害担当1名) ・非常勤登録 6名 計 9名 | <ul style="list-style-type: none"> ・要介護の利用者年間363人に対し、年間合計約3,953時間の介護を実施しました。 ・介護予防の利用者年間93人に対し、年間合計約458時間の介護を実施しました。 ・障害福祉サービス事業では、利用者年間55人に対し、年間合計約665時間の介護を実施しました。 |
| | (2) 通所介護事業所 デイサービスセンター 「やまゆり」 【職員体制】 ・管理者(兼務) 1名 ・生活相談員(兼務) 3名 ・看護職員 2名 常勤 1名 (機能訓練指導員兼務) 非常勤 1名 ・介護職員 5名 常勤 4名 非常勤 1名 (うち運転兼務3名) ・機能訓練指導員 1名 ・送迎者運転手(非常勤) 4名 ・調理員 6名 常勤 1名 非常勤 5名 | <ul style="list-style-type: none"> ・要介護者ならびに要支援等(利用者)年間利用者延7,230人(月平均約602人、一日平均約26.1人)の受入れをしました。 営業日数は277日。 <p>※上記利用人数には、大月市介護予防日常生活支援総合事業通所型サービスを含む</p> |
| 指定居宅介護支援事業 | (1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」 【職員体制】 介護支援専門員 (ケアマネージャー) ・常勤 5名 計 5名 | <ul style="list-style-type: none"> ・要介護者年間合計1,728件のケアプランを作成しました(月平均144人)。 ・ケアマネージャー一人当たり、1月あたり約29人を担当しました。 <p>※上記利用人数には、大月市介護予防支援業務及び介護予防ケアマネジメント業務を含む</p> |

8 介護保険訪問介護事業

(1) 訪問介護事業所 ヘルパーステーション「花さき」事業所の利用状況(年間実績)

ア 介護保険分

(単位：利用時間)

| 月別 | 利用者数 | 介護保険 延時間 | | | 合計時間 | 利用者 一人当たり 月平均 利用時間 |
|-------|------|----------|-------|-------------|----------|-----------------------------|
| | | 身体介護 | 生活援助 | 身体・生活 複合 | | |
| 4月 | 29 | 108.3 | 27.25 | 166.5 | 302.05 | 10.4 |
| 5月 | 30 | 111.17 | 30.25 | 187.5 | 328.92 | 11.0 |
| 6月 | 31 | 103.5 | 21.75 | 187.75 | 313.0 | 10.1 |
| 7月 | 34 | 117.33 | 19.83 | 209.42 | 346.58 | 10.2 |
| 8月 | 29 | 122.08 | 14.67 | 213.5 | 350.25 | 12.1 |
| 9月 | 29 | 104.33 | 15.75 | 234.0 | 354.08 | 12.2 |
| 10月 | 32 | 110.83 | 19.0 | 230.25 | 360.08 | 11.3 |
| 11月 | 31 | 91.67 | 23.5 | 214.75 | 329.92 | 10.6 |
| 12月 | 28 | 89.17 | 21.75 | 207.5 | 318.42 | 11.4 |
| 1月 | 28 | 93.83 | 20.75 | 200.0 | 314.58 | 11.2 |
| 2月 | 30 | 84.0 | 23.0 | 214.5 | 321.5 | 10.7 |
| 3月 | 32 | 60.83 | 22.5 | 230.5 | 313.83 | 9.8 |
| 合計 | 363 | 1,197.04 | 260.0 | 2,496.17 | 3,953.21 | 10.9 |
| 1ヵ月平均 | 30.3 | 99.8 | 21.7 | 208.0 | 329.4 | 10.9 |
| 割合 | | 30.3% | 6.6% | 63.1% | 100% | |

イ 介護予防分

(単位：利用時間)

| 月別 | 利用者数 | 介護予防 延時間 | | 合計時間 | 利用者 一人当たり 月平均 利用時間 |
|-------|------|----------|-------|---------|-----------------------------|
| | | 予防 1 | 予防 2 | | |
| 4月 | 5 | 21.0 | 0 | 21.0 | 4.2 |
| 5月 | 5 | 22.0 | 0 | 22.0 | 4.4 |
| 6月 | 7 | 22.0 | 12.0 | 34.0 | 4.9 |
| 7月 | 7 | 26.0 | 13.0 | 39.0 | 5.6 |
| 8月 | 7 | 22.0 | 10.0 | 32.0 | 4.6 |
| 9月 | 7 | 24.0 | 13.0 | 37.0 | 5.3 |
| 10月 | 7 | 27.0 | 12.0 | 39.0 | 5.6 |
| 11月 | 8 | 27.0 | 11.0 | 38.0 | 4.8 |
| 12月 | 8 | 26.0 | 19.0 | 45.0 | 5.6 |
| 1月 | 10 | 30.0 | 19.0 | 49.0 | 4.9 |
| 2月 | 10 | 28.0 | 17.0 | 45.0 | 4.5 |
| 3月 | 12 | 46.0 | 11.0 | 57.0 | 4.8 |
| 合計 | 93 | 321.0 | 137.0 | 458.0 | 4.9 |
| 1ヵ月平均 | 7.8 | 26.8 | 11.4 | 38.2 | 4.9 |
| 割合 | | 70.1% | 29.9% | 100.00% | |

ウ 障害者利用者分

(単位：利用時間)

| 月別 | 利用者数 | 延時間 | | | 利用者 一人当たり 月平均 利用時間 |
|-------|------|-------|--------|--------|-----------------------------|
| | | 障 害 | | 合 計 | |
| | | 身 体 | 家 事 | | |
| 4月 | 5 | 9.5 | 55.0 | 64.5 | 12.9 |
| 5月 | 5 | 13.0 | 55.25 | 68.25 | 13.7 |
| 6月 | 5 | 11.0 | 43.5 | 54.5 | 10.9 |
| 7月 | 5 | 13.5 | 55.0 | 68.5 | 13.7 |
| 8月 | 5 | 11.0 | 46.5 | 57.5 | 11.5 |
| 9月 | 5 | 10.0 | 35.5 | 45.5 | 9.1 |
| 10月 | 4 | 11.0 | 45.0 | 56.0 | 14.0 |
| 11月 | 4 | 9.0 | 43.5 | 52.5 | 13.1 |
| 12月 | 5 | 9.5 | 44.5 | 54.0 | 10.8 |
| 1月 | 4 | 9.0 | 36.5 | 45.5 | 11.4 |
| 2月 | 4 | 9.0 | 38.25 | 47.25 | 11.8 |
| 3月 | 4 | 9.0 | 41.75 | 50.75 | 12.7 |
| 合 計 | 55 | 124.5 | 540.25 | 664.75 | 12.1 |
| 1ヵ月平均 | 4.6 | 10.4 | 45.0 | 55.4 | 12.1 |
| 割 合 | | 18.7% | 81.3% | 100.0% | |

9 介護保険通所介護事業

(1) 通所介護事業所 デイサービスセンター「やまゆり」事業所の利用状況（年間実績）

（単位：人）

| 月別 | 利用者数 (対象者) | 延利用 者数 | 介護度等別 | | | | | | 営業 日数 | 1日 平均 |
|-------|---------------|-----------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | | 要支援 1・2 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 | | |
| 4月 | 74 | 598 | 78 | 220 | 145 | 102 | 29 | 24 | 22 | 27.1 |
| 5月 | 70 | 621 | 81 | 237 | 154 | 85 | 35 | 29 | 23 | 27.0 |
| 6月 | 72 | 544 | 74 | 203 | 130 | 83 | 27 | 27 | 20 | 27.2 |
| 7月 | 72 | 606 | 72 | 226 | 174 | 82 | 24 | 28 | 23 | 26.3 |
| 8月 | 69 | 608 | 62 | 219 | 181 | 88 | 32 | 26 | 22 | 27.6 |
| 9月 | 68 | 571 | 71 | 213 | 146 | 87 | 27 | 27 | 21 | 27.1 |
| 10月 | 73 | 652 | 76 | 232 | 175 | 115 | 27 | 27 | 23 | 28.3 |
| 11月 | 75 | 646 | 70 | 218 | 175 | 131 | 26 | 26 | 26 | 24.8 |
| 12月 | 74 | 591 | 75 | 204 | 161 | 105 | 19 | 27 | 24 | 24.6 |
| 1月 | 73 | 581 | 83 | 185 | 164 | 109 | 16 | 24 | 23 | 25.2 |
| 2月 | 74 | 611 | 80 | 179 | 200 | 111 | 16 | 25 | 24 | 25.4 |
| 3月 | 73 | 601 | 70 | 180 | 190 | 107 | 27 | 27 | 26 | 23.1 |
| 合計 | 867 | 7,230 | 892 | 2,516 | 1,995 | 1,205 | 305 | 317 | 277 | 26.1 |
| 1ヵ月平均 | 72.3 | 602.5 | 74.3 | 209.6 | 166.2 | 100.4 | 25.4 | 26.4 | 23.0 | 26.1 |
| 割合 | | 100% | 12.3% | 34.8% | 27.6% | 16.7% | 4.2% | 4.4% | | |

10 介護保険居宅介護支援事業

(1) 居宅介護支援事業所 介護プラン「花さき」事業所の利用状況（年間実績）

(単位：人)

| 月別 | 要介護者数 | 介 護 度 別 | | | | | |
|------|--------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 予防 | 要介護 1 | 要介護 2 | 要介護 3 | 要介護 4 | 要介護 5 |
| 4 月 | 143 | 13 | 54 | 41 | 21 | 10 | 4 |
| 5 月 | 142 | 15 | 52 | 43 | 18 | 10 | 4 |
| 6 月 | 137 | 16 | 48 | 39 | 19 | 11 | 4 |
| 7 月 | 140 | 14 | 48 | 42 | 21 | 11 | 4 |
| 8 月 | 137 | 13 | 48 | 41 | 17 | 13 | 5 |
| 9 月 | 139 | 14 | 46 | 41 | 18 | 15 | 5 |
| 10 月 | 143 | 16 | 46 | 45 | 18 | 13 | 5 |
| 11 月 | 147 | 17 | 48 | 45 | 20 | 12 | 5 |
| 12 月 | 147 | 19 | 47 | 43 | 21 | 14 | 3 |
| 1 月 | 147 | 18 | 49 | 42 | 23 | 12 | 3 |
| 2 月 | 152 | 19 | 52 | 44 | 21 | 10 | 6 |
| 3 月 | 154 | 21 | 54 | 44 | 20 | 12 | 3 |
| 合 計 | 1,728 | 195 | 592 | 510 | 237 | 143 | 51 |
| 月平均 | 144.0 | 16.3 | 49.3 | 42.5 | 19.8 | 11.9 | 4.2 |
| 割 合 | 100.0% | 11.3% | 34.3% | 29.5% | 13.7% | 8.3% | 2.9% |

11 障害者サービス事業

(1) 地域生活支援事業

①移動支援事業

利用者が地域における自立生活及び社会参加ができるよう、その利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じ、外出時における移動の介護の援助を行います。令和6年度は、登録者数1名に対し、延べ利用66日の支援をさせていただきました。

12 地域支援事業

(1) 地域支援事業

ケアマネージャー等との連携を図りながら、利用者とその家族への相談支援を行なうなど、地域福祉推進の視点で取り組みました。また、利用者と地域との関わりにも目を向け、福祉関係者等と連携を図り事業を実施しました。

①介護予防・生活支援サービス事業通所型サービス

ア パワーアップ教室

要支援認定者や介護予防生活支援サービス事業対象者等を対象として、理学療法士の指導のもと、ストレッチ、有酸素運動、簡単な器具を用いた運動等を集団指導で実施し、運動器の機能向上を図りました。

また、栄養士の指導のもとでは、低栄養状態の改善を目指した食事内容の講義、個別指導を行ないました。更には、歯科衛生士の指導のもと、日常的な口腔機能向上の訓練の指導、口腔清掃の指導を行いました。

これらの教室では、要介護状態となることの予防、又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び心身機能の維持向上を図ることを目標に開催しました。

| グループ | 期 間 | 回数 | 利用者 | 男 | 女 | 延べ数 |
|------|-------------|-----|-----|---|---|-----|
| 1 | 4月9日～9月30日 | 28回 | 2 | 0 | 2 | 36 |
| 2 | 10月3日～3月31日 | 28回 | 4 | 0 | 3 | 53 |
| 合 計 | | 56回 | 6 | 0 | 5 | 89 |

②一般介護予防事業

ア ミニデイサービス

地域の公民館・集会所において（10地区）、レクリエーションをはじめ、趣味・創作活動、肩こり体操・腰痛運動を行い、健康への意識向上・生活習慣の改善を図り、生きがいをもって、外に出る意欲を高め、閉じこもりを防止することを目的に、ボランティア（おおつきお助け隊）の協力をいただく中で実施しました。

| 月別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 参加者 | 78 | 70 | 71 | 75 | 71 | 70 | 71 | 73 | 70 | 68 | 65 | 68 | 850 |

イ 集いどころ「スマイル」

住民主体の介護予防活動の育成・支援を目的とし、福祉センターを集いの場として、参加者の憩いの場、生きがいの場、生活の張合いの場になるよう、毎週火曜日、木曜日、金曜日に軽体操、趣味、作り物、レクリエーション、脳トレなどを実施しました。

| 月別 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-------|
| 回数 | 12 | 12 | 15 | 12 | 12 | 9 | 12 | 9 | 12 | 12 | 12 | 9 | 138 |
| 実人数 | 46 | 48 | 46 | 41 | 32 | 33 | 38 | 39 | 45 | 45 | 45 | 38 | 496 |
| 延人数 | 120 | 122 | 135 | 100 | 88 | 61 | 91 | 67 | 109 | 117 | 45 | 70 | 1,125 |